

# 停電後の復帰方法

型式 : CUF-30WM2  
CUF-37M2  
CUF-37M2K  
CUS-37M2  
CUF-46M1

平成16年9月8日  
(株)コナ

# 注意事項

- ・時間帯別電灯契約をご利用のお客様の場合、沸き増しの操作を行っていただかないと、お湯は作れません。
- ・電灯契約を確認してお話下さい。
- ・停電時もブレーカーが「入」になっていた場合、一度「切」にした後「入」に戻して下さい。
- ・家のブレーカー、機器のブレーカーの両方を確認して下さい。

# 復歸の基本的な流れ

## 時間帯別電灯契約の場合

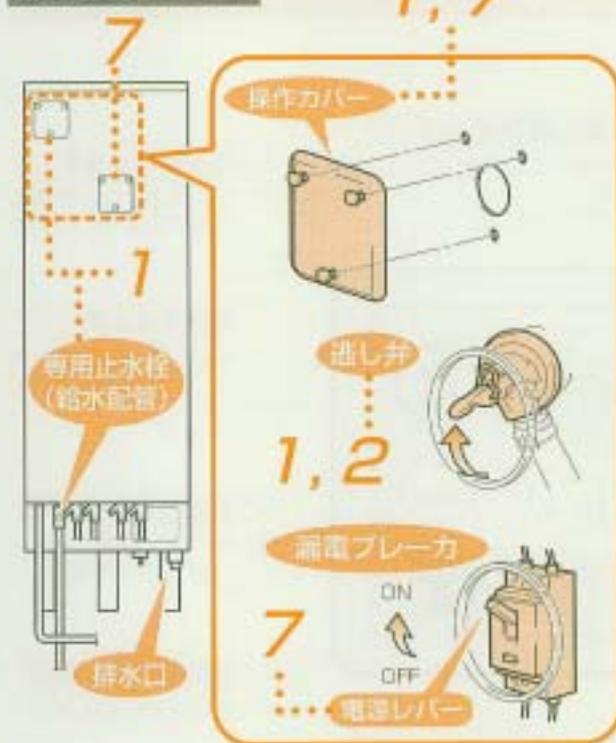
- 家のブレーカーと本体のブレーカーを「入」にする。  
(「入」になっている場合は一旦「切」してもらい、再度「入」に入れてもらう)
- リモコンの時刻の設定をする。(設定方法は以下を参照)
- 昼間の沸き上げをお客様自身で行ってもらう。

# はじめてご使用になるとき

○ 貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットを満水にし、電源を入れます。

準備

## 貯湯タンクユニット



## ヒートポンプユニット



1. 貯湯タンクユニットの操作カバーをはずし、逃し弁のレバーを上げ、専用止水栓 (給水配管) を開きます。
  - 貯湯タンクユニットに水を入れます。
2. 貯湯タンクユニットが満水になったら、逃し弁のレバーを戻します。
  - 排水口から水が出てきたら満水です。
  - 満水までの目安は約30分です。
3. ヒートポンプユニットのカバーを止めているネジを取りはずし、下方へスライドさせ、ツメ (5箇所) をはずし、カバーを取りはずします。
  - 必要以上にスライドさせると、ツメ部が破損する恐れがあるので注意してください。
4. ヒートポンプユニットの熱交換水抜き栓を開き、エア抜きをします。
  - エアまじりの水が出ます。2分以上十分にエアが抜けるまで行ってください。周囲が水にぬれないよう注意してください。
5. ヒートポンプユニットのA側およびB側の水抜き栓を開き、エア抜きをします。
6. ヒートポンプユニットのA側、熱交換およびB側の水抜き栓を閉じます。
7. 貯湯タンクユニットの操作カバーをはずし、200V電源ブレーカを「入」にし、貯湯タンクユニットの漏電ブレーカの電源レバーを「ON」にします。

### △注意

- 貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニットを満水にしてから電源を入れる。満水にしないで電源を入れると故障の原因になります。

# 時刻合わせ

メインリモコン



日付表示

8, 10

7, 9, 11

準備

## 7. を押します。

- 「年」が設定され、「月」が点滅します。



## 8. を押し「月」を合わせます。

-  を押すと1箇月ずつ進みます。  
(押し続けると連続して進みます。)
-  を押すと1箇月ずつ戻ります。  
(押し続けると連続して戻ります。)

## 9. を押します。

- 「月」が設定され、「日」が点滅します。



## 10. を押し「日」を合わせます。

-  を押すと1日ずつ進みます。  
(押し続けると連続して進みます。)
-  を押すと1日ずつ戻ります。  
(押し続けると連続して戻ります。)

## 11. を押します。

- 時刻が確定し通常の表示に変わり、時刻設定が完了します。  
浴室リモコンにも設定した時刻が自動的に表示されます。



### お願い

- 約4時間以上の停電があったときや長時間電源を「切」にしていたとき、表示部は「-: -」が点滅しますので、必ず時刻を合わせ直してください。
- 時刻は、ずれることがありますので、ときどき確認を行い時刻の修正をしてください。

# 時刻合わせ

- 現在時刻と年月日の設定をします。
- 設定時刻がずれていたり、午前 (AM) と午後 (PM) を間違えると、電気料金が高くなってしまいますので、正確に設定してください。
- 停電などで時刻が「- : -」バー表示のままでは、自動沸上げができません。

## メインリモコン



時刻表示

2, 4, 6

1, 3, 5

準備

### 1. 時刻設定を押します。

- 「時」が点滅します。



#### お知らせ

- 時刻の設定中 (表示点滅中) に10秒以上スイッチが押されないとその時の表示時間で設定されます。

### 2. 低/高を押して「時」を合わせます。

- 高を押すと1時間ずつ進みます。  
(押し続けると連続して進みます。)
- 低を押すと1時間ずつ戻ります。  
(押し続けると連続して戻ります。)

#### お知らせ

- 時刻は12時間表示です。  
昼の12時は「PM12:00」を、  
夜の12時は「AM12:00」を表示します。

### 3. 時刻設定を押します。

- 「時」が設定され、「分」が点滅します。



### 4. 低/高を押して「分」を合わせます。

- 高を押すと1分ずつ進みます。  
(押し続けると連続して進みます。)
- 低を押すと1分ずつ戻ります。  
(押し続けると連続して戻ります。)

### 5. 時刻設定を押します。

- 「分」が設定され、「年」が点滅します。



### 6. 低/高を押して「年」を合わせます。

- 高を押すと1年ずつ進みます。  
(押し続けると連続して進みます。)
- 低を押すと1年ずつ戻ります。  
(押し続けると連続して戻ります。)

# お湯をたくさん使うとき（強制沸増）

○ 来客などでたくさんのお湯が必要なときは、強制沸増を使用して貯湯タンクのお湯を沸増しします。

## メインリモコン

強制沸増表示

沸増し中表示



お買い上げ時の設定  
満タン  
設定できる沸増量  
50L・100L・満タン

1, 2

## お知らせ

● 強制沸増量は、オプション設定で、50L、100L、満タンを設定します。（→41ページ）

## 満タン設定のとき

1. **強制沸増**  を押します。

- 強制沸増モードに設定され、「強制沸増」表示が点灯し、沸上げを行います。
- 貯湯量が約250L未満になると、「沸増し中」表示を点灯させ、満タンまで沸上げます。

2. 途中でやめるときは、もう一度 **強制沸増**  を押します。

## お知らせ

- **強制沸増**  を押した日（押してから、その日の深夜まで）は何回でも沸上げ運転を行います。ただし、深夜（午後11時）に強制沸増は解除され、通常の運転に戻ります。
- 続けて強制沸増をする場合は、再度 **強制沸増**  を押してください。
- 強制沸増を使用しているときは、運転モードの設定はできません。
- 強制沸増を使用すると、昼間電力で沸上げを行うため電気料金は割高になります。

## 50L・100L設定のとき

1. **強制沸増**  を押します。

- 強制沸増モードに設定され、「強制沸増」表示が点灯し、設定された量を沸上げます。
- 約50Lまたは約100Lを沸上げたら、沸増しは終了します。

2. 途中でやめるときは、もう一度 **強制沸増**  を押します。

## お知らせ

- 強制沸増を使用しているときは、運転モードの設定はできません。
- 強制沸増を使用すると、昼間電力で沸上げを行うため電気料金は割高になります。